

# 方谷をめぐる人々

藩政改革を見事に成功させ、優秀な人材を輩出し、人々のより良い暮らしに尽力した方谷。その陰には、多くの人々との出会いがありました。

## 藩主板倉家

いたくらかつね **板倉勝職 (1803~1849)**

備中松山藩6代目藩主。跡継ぎがいなかったため、勝静を養子として迎えた。嘉永2(1849)年に隠居し、勝静に家督を譲る。



↑ 養子となる

いたくらかつきよ **板倉勝静 (1823~1889)**

備中松山藩7代目藩主で、陸奥白河藩主松平定信の孫。方谷を元締役兼吟味役に任命し、藩政改革を成功させた。



仕える

## 佐藤一斎塾

さとういつさい **佐藤一斎 (1772~1859)**

江戸時代後期の儒学者。陽朱陰王と呼ばれ、昌平黌では朱子学を、家塾では陽明学を教え、吉田松陰や西郷隆盛など多くの人材に影響を与えた。



↑ 入門する

さくましょうざん **佐久間象山 (1811~1864)**

江戸時代後期の思想家。佐藤一斎の門下で、方谷とともに「佐藤門下の二傑」と称される。弟子には勝海舟などがいる。



おうようめい **王陽明 (1472~1528)**

中国(明)の儒学者・政治家で、陽明学を始めた。方谷は陽明学に目覚め、方谷の思想形成に大きな影響を与えた。



↑ 影響を受ける

↓ 影響を与える



**山田方谷**  
(1805~1877)

↑ 指導する

↓ 入門する

しせいそくだつ **至誠惻怛とは？**

至誠(まごころ)と惻怛(いたみ悲しむ気持ち)を持つことは人の基本！ 目上には誠を尽くし、目下には慈しみを持って接すれば、物事をうまく運ぶことができるという考え方じゃ。



ようめいがく **陽明学とは？**

儒学者・王陽明が始めた儒学の一派。人が生まれながらに持っている理性によって、知識と実践を一体化すべきと説いた。

ふくにししげこ **福西志計子 (1847~1898)**

教育者で、岡山県における女性教育を推進した。明治14(1881)年に県内初の女性学校である「私立裁縫所(現順正学園)」を創設。



## 方谷の門人たち

みしまちゅうしゅう **三島中洲 (1830~1919)**

漢学者・備中松山藩士で、14歳のときに牛麓舎へ入門。その後、大正天皇の侍講(君主に学問を講義する人)などを歴任。明治10(1877)年には、二松學舎(現二松學舎大学)を創立した。



かわいつぎのすけ **河井継之助 (1827~1868)**

越後長岡藩士で、方谷から教えを受けるために備中松山藩を訪れた。後に長岡藩で藩政改革を行い、大きな成果を収めた。方谷のことを敬愛し、方谷は継之助に「至誠惻怛」の言葉を送った。



【主な参考文献】 「入門 山田方谷」(山田方谷に学ぶ会)  
「山田方谷を語る」(児玉享)